

# こんにちは 新社会党



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

## 週刊新社会

2024年9月・号外

発行所：新社会党 発行：岡崎ひろみ

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階  
TEL 03-6380-9960 Fax 03-6380-9963

郵判 00140-0-149727 1か月700円・送料168円 1部175円・送料42円

<https://www.sinsyakai.or.jp/> E-mail [honbu@sinsyakai.or.jp](mailto:honbu@sinsyakai.or.jp)



# かい まさやす かい 正康の重点政策

新社会党市民運動委員長・社民党参議院比例代表予定候補のかい正康さんの重点政策は5つ。その中から2つを紹介します。

### 若者・女性が希望を持てる社会に

若者や女性から希望を奪う格差や貧困、あらゆる差別と偏見の解消に取り組みます。

■貸与型奨学金は廃止し、すべて給付型の奨学金に。

■奨学金返還制度を見直し、全面的な免除の体制をつくりまします。

■選択的夫婦別姓と同性婚の法制化を早急に実現します。

■ジェンダー平等の実現に向けて、特に政治の場への女性参画を進めます。

### 労働者を人としてあつかえ

格差と貧困を解消します。社会の物流を担うトラックドライバーなど運輸労働者は、医療、介護、福祉、教育、環境衛生等に従事する人と同様のエッセルシヤルワーカーです。「24年問題」は過酷な長時間労働、低賃金による労働者不足が原因です。

◆正規労働が基本です。

非正規労働、派遣労働は原則禁止。官民を問わず非正規労働者の正規化、待遇改善を求めます。

◆労働法制の改悪を許さない。全国一律で最低賃金、時給1500円を直ちに実現させます。



生まれつらく社会を変える



# 改憲競う自民党総裁選挙

**明文改憲も、なし崩し改憲も許さず  
総選挙で立憲政党を飛躍させよう！**

岸田首相の次期総裁選への出馬辞退に伴う自民党総裁選挙が9月12日告示、27日が投開票日で行われています。この総裁選挙は自民党国会議員、地方代表者により選ばれます。一般国民は無関係ですが、実は総裁選挙は候補者の改憲案や改憲姿勢を競うものとなります。

自民党総裁選での改憲議論の工スカリートは極めて危険であり、また衆参両院の憲法審査会が改憲派が過半数を占めており、改憲を阻むためには、来るべき総選挙で立憲政党を飛躍させましょう。

**岸田首相の置き土産は  
改憲加速と改憲国民投票**

岸田首相は8月7日、自民党憲法改正実現本部の席で、「緊急事態条項」の改憲案に加え、憲法9条に自衛隊を明記し、国民投票の実施の意欲を表明しました。

ポスト岸田に手を挙げたのはかつてない数です。その中で、高市早苗氏や石破茂氏など、全ての総裁候補は憲法9条の改憲では一致。高市早苗氏は「新たな『日本国憲法』の制定を目指す」とし、石破茂氏は「自衛隊を国防軍に変える」との独自の改憲案を持っています。一方、自民党は明文改憲をしなくても憲法9条を事実上空洞化し

てきたのも事実です。

**なし崩し改憲で  
戦争できる国に変貌**

2015年9月に「戦争法」（安保法制）を強行可決してから、2022年12月に「安保3文書」を確定し、「国家安全保障戦略」これを具体化した「防衛計画の大綱」、5年間で調達する装備品を記した「中期防衛力整備計画」を策定し、米国の中国を「挑戦者」仮想敵国」とし、米軍が日本に求めた「統合抑止力」に応えました。

政府・自民党は明らかに憲法9



条を無視し、自衛隊は米軍の統合指揮下の共同作戦に組み込んでいきます。改めて明文改憲も、なし崩し改憲も許さない立憲政党が、秋の衆議院選挙で議席を伸ばすことが求められています。

## 「日本国憲法改正草案」－自民党Q&A増補版より

- 現行憲法の全ての条項を見直し、全体で11章、110力条の構成
  - 前文は全て書換え
  - 主要な改正点：
    - 国旗・国歌の規定、自衛権の明記、国防軍の保持、家族の尊重、環境保全の責務財政の健全性の確保、緊急事態の宣言の新設、憲法改正提案要件の緩和など
- 時代の要請、新たな課題に対応した憲法改正草案

週刊新社会を  
読みませんか

お問い合わせ先